

(様式 3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	株式会社 GREEN for TABLE
取組	(2) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保
構成員数	5名(うち、女性の人数5名) (令和3年5月時点)

1 事業実施方針

<概要>

■株式会社 GREEN for TABLE 2018年1月創業

会社事務員と農業共済職員だった姉妹が、退職後父からの就農指導を受けながら新規就農する

■30代女性役員2名、60代女性アルバイト3名にて従事

■作目：ミニトマト (現在は土耕栽培にて30aのハウスを所有)

■事業計画

自社の商品コンセプトとして“からだにいいもの・こどもにいいもの”を掲げ、ミニトマトとしては高糖度である常時糖度12度以上の美味しいミニトマト作りを目指している。(通常売られているミニトマトは高糖度のもので糖度8~10度) 昨年は平均糖度11度のミニトマト栽培に成功。

女性でも持続可能な農業を目指し、本年度から超軽量リサイクル繊維培地を使用した試験栽培を開始。現在は、市場出荷中心の多収量品種のミニトマトを栽培中。今後自社の売り上げにかかる割合を市場出荷から直販やネット販売などの販路開拓を行い、収益向上を目指す。

試験栽培については、今後力のない女性でも労力を軽減して農業に取り組めるよう、ハウス内の環境整備等進める計画で進行中。

3年後の売上目標を現在の3倍とし、新規正規雇用2名を目指す。

直近の目標として来年度3月末にはアルバイト2名程度雇用を目指す。

■地域への貢献

福島という土地で作る農作物に関しては、風評被害が未だ残る。これに対しては、作物の放射能検査を行い、安心安全であることのPRを引き続き行う。

地域の農業従事者についてはまだまだ若い世代が少ないのが現状。現に当社にて従事しているメ

ンバーはシニア世代。彼女たちは農業のプロフェッショナルであり、彼女たちの長年の経験から学ぶことも多く、今後も活躍してほしい人財である。歳を重ねても新しいことにチャレンジし、当社で農業を楽しんでいる姿をPRすることで、地域のリタイア後のシニア世代女性の新規就農に貢献する。

私たちは子供を持つ親でもある。私たちがロールモデルとなり、自分たちの裁量で育児も仕事も楽しく取り組める会社として事業継続することで、新規の若い女性就農者が増えることに貢献していく。

現在加入している田村市の地元若手農業者団体(アグリクリエイターズたむら)のメンバーと共に、マルシェやイベントを通じて活き活き働ける農業を外部に発信して地域を活性化する。これにより若い年齢層の方にも農業を職業として見てもらえるような環境を整えたい。自社としても今後も積極的に女性就農者の採用を推進する。

■現状と課題

新規就農における課題としては設備構築のためのランニングコストが様々なところで非常にかかるということ。当社も例外ではなく、ハウス作りも資金節約のためパイプを切るところからすべて手作業で一から作り上げた。

また、現在作業場兼休憩所として使用している施設も以前は葉タバコの乾燥機として使用していたものを自分たちで改修して使用している。

現在の当社の環境設備に関する課題としては、作業場を休憩所としているため着替えるスペースの確保が難しく、来客時はハウスの中で着替えをするなど不便を強いられる事もある。

また来客も多く、男性の来客時など、女性作業員が安心して使用できるようにトイレ施設を男性用女性用で分けたいと考えている。

今後女性就農者を増やしたいと考えているため、女性が働きやすい環境作りは企業としての責務と考える。本事業を通じて、作業場と休憩スペースを分け、トイレ施設の整備をすることで女性が気持ちよく働ける環境につなげたい。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性農業者活躍に向けた実施体制

■社内体制

役員：生産現場監督と作業・販路開拓・営業・広報

アルバイト：生産・販売に向けた作業（収穫・選別・梱包等）

■その他外部との連携

【現栽培に関して】

- ・行政（田村市役所）：研修生の紹介、地域農業コミュニティの紹介、研修参加のためのサポート
- ・農業普及所、JA：農業指導、他生産者の紹介・視察サポート

【試験栽培（高糖度ミニトマトの生産にむけて）について】

- ・近畿大学教授：技術提供・農業指導
- ・繊維培地開発会社：技術提供・農業指導
- ・繊維培地を利用したアンズリウム栽培を行う生産者等：技術提供・農業指導

（注）応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の（1）の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者（女性1名以上を含む）の氏名を記載してください。

3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

（1）女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
【実施済の取り組み】		
①新規就農希望者との就農相談と研修受け入れ	①新規就農希望者との就農相談（2020年男性1名女性2名） 新規就農希望者研修 男性1名（2020年）	
②地元若手農業者団体（アグリクリエイターズたむら）でマルシェ開催、イベントへの出店	②年6回程度	
③農業団体（農協）の広報誌、農業共済新聞への掲載、農業共済組合のCM出演	③広報誌2回、新聞2回、テレビCM1回	
【今後の取り組み】		
①ホームページ（現在作成中）・SNSによる情報発信	①毎月	
②就農希望者の研修・体験受け入れ	②年間1～2名	
③行政や協力関係機関と連携し、地域農業の振興に向けての取り組み（マルシェやイベント）への参加	③毎年	
④女性が働きやすい社内環境（福利厚生・自社施設）の整備	④今年度中	
⑤自社オリジナル作業着の製作	⑤今年度中	

（注）「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>【実施済の取り組み】</p> <p>①一般社団法人（Switch）主催のオンライン就農相談会への参加。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>①国や県企画の農業女子プロジェクト等の農業ネットワークへの参加、他地域の女性農業者との情報共有</p> <p>②就農相談や研修を今後も実施し、新規就農に向けた不安や疑問への解消に取組む</p> <p>③女性でも持続できる農業に向け関係機関と連携し技術向上・習得を目指し、希望する新規就農者に技術指導を行う</p> <p>④社内親睦を深めるための社内企画（日帰り旅行・バーベキューなど）の実施</p>	<p>2021年2月</p> <p>【目標】</p> <p>①本年度より参加予定</p> <p>②毎年</p> <p>③毎年</p> <p>④年1回</p>	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>【実施中の取り組み】</p> <p>①メンバーの意見を柔軟に取り入れ農作業に反映させる</p> <p>②休みの取りやすい仕組み作り</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>①女性目線での商品パッケージづくり</p> <p>②ネット販売による販路開拓</p> <p>③クラウドファンディングを利用した加工品開発</p> <p>④保育所・幼稚園での食育による地域貢献と広報活動を目的にミニトマト無料配布</p>	<p>①効率の良い作業への改善とモチベーションの維持につなげる</p> <p>②メンバー同士での協力により重複しない休暇取得により家庭と仕事を両立できる仕組みの構築</p> <p>【目標】</p> <p>①今年度中</p> <p>②今年度中</p> <p>③商品開発(2021年10月)販売(2022年6月～9月まで)</p> <p>④近隣保育園・幼稚園5か所</p>	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

(2) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
令和3年度中	<ul style="list-style-type: none"> ・女性更衣室兼休憩所兼託児スペースとしてのユニットハウスの設置 ・女性専用仮設トイレの設置 対象者：女性メンバー5名	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(2)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	2人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者 人、雇用就農者 1人、アルバイト・ボランティア等 1人	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の女性とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。